

第7回 みどりのまちづくり賞（大阪ランドスケープ賞）

全体講評

第7回を迎えた本年も昨年に引き続きマネジメント部門が14件と多く、デザイン部門の15件と合わせほぼ例年通りの応募状況がありました。応募書類による1次審査では、マネジメント部門が6件に厳選され、デザイン部門は現地確認の必要性から若干多く10件を选出しました。以上の16件を対象に現地審査(2次審査)を通じて、以下の各賞を決定しました。

マネジメント部門が本年度は充実しており、6件の内4件を入賞としました。大阪府知事賞はガーデンシティコーブ金剛東すみれ会で、自由活動をモットーに珍しい草花を用いて20年に渡り約300mに及ぶ緑道の魅力アップを実現しています。花博記念協会長賞は長池オアシス管理会で、平成16年から住民参加によるため池環境づくりに取組み、平成12年の整備完了後から現在に至るまで「みんなのオアシス」をモットーに活発な活動が継続されています。特に、水生植物帯のバスの育成に力が注がれ毎年見事な花で埋め尽くされています。みどりのまちづくり活動賞は大阪信用金庫の「花咲かしんきん運動」で、平成18年より若手職員がリーダーとなり各店舗の美化・緑化に取り組んでおり、現在30店舗で「アドプト・ロード」の認証を受けています。千里青山台団地みんなの庭プロジェクトは千里ニュータウンの建設当初からの豊かな屋外環境が形づくられた団地の中での活動で、歴史的な緑地資産を生かしながら今後に繋げていくための活動として大いに期待され審査委員長特別賞としました。

デザイン部門は若干低調な中で、大阪府知事賞はダイキン工業株式会社テクノロジー・イノベーションセンターで、北側の植生を参考にした森の創成と記念樹を大切にしたメモリアルフレストからなり、森は癒しを与える、豊かな感性を育むイノベーションの場に相応しいランドスケープを表出しています。その他はいずれも奨励賞で敷地面積の43%にも当たる表情豊かな緑地を整備したグランメンソントリ中央東丘と各階パレコニーと屋上緑化を積極的に展開しているコインズミ緑橋ビルであります。

ランドスケープはそこに創造された空間が持続的に管理されることによって熟成されていくものであり、マネジメントの重要性は計り知れませんが、本年度は多くの住民の方々の努力によって見事に熟成されていた物件が多く見られました。一方、デザインは人と自然との関係を総合的に調和ある関係として空間化するものであります。本年は視覚効果に偏重した物件が多く、居場所づくりも含めた総合的な調和への取組みがさらに求められます。

(審査委員長 大阪府立大学 増田 昇)

奨励賞

グランドメンソントリ中央東丘

【事業主】東丘住宅マンション建替組合
積木ハウス(株)大阪マンション(参加組合員)
(株)長谷工コーポレーション(参加組合員)

【設計者】(株)長谷工コーポレーション
大阪エンジニアリング事業部

【施工者】(株)長谷工コーポレーション
Address

B 大阪府豊中市新千里東町

Review

開発後半世紀以上の歳月を重ねた千里ニュータウンには、魅力的な二次的自然が形成されている。「グランドメンソントリ中央東丘」は、千里東町公園と千里中央公園の間に位置する分譲集合住宅だが、事業者の環境に対する思いを反映し、人々の暮らしを包み込む、千里ならではの二次的自然のランドスケープが再現されている。

フロントガーデンには、歴史をつなぐシンボルとして既存樹のケヤキを残し、千里丘陵の自生種や在来種を活かして、ガーデンコリドールやヒーリングガーデンを設けるなど、生活動線や生活場面に寄り添い、心身になじむ植栽計画が心地よい。緑地とライフスタイルが響き合って、より豊かな景観とコミュニティを形づくっていくことを期待したい。

(大阪ガス(株) 弘本 香里)

ランドスケープデザイン部門

—まちが美しくなるみどりづくり—

大阪府 知事賞

ダイキン工業株式会社 テクノロジー・イノベーションセンター (TIC)の森

【事業主】ダイキン工業(株)

淀川製作所

【設計者】日建設計・

NTTファシリティーズ

設計共同企業体

【施工者】(株)竹中工務店

住友林業緑化(株)

Address

A 大阪府摂津市西一津屋

Outline

摂津市の南端に位置する敷地面積約40haに及ぶ淀川製作所は創業の地であり、その正面玄関にテクノロジー・イノベーションセンター(TIC)は立地する。

「協創」による「技術イノベーション」のための研究開発拠点として、研究・開発技術者700名を集約したTICは、ダイキンの技術を随所に活かした圧倒的な省エネルギーを実践した建築として、CASBEE Sランク(第三者認証)およびLEED-NC(新築) プラチナ認証を取得している。

旧製作所本館や剣道場が建っていた南面には、全くの更地から自然度の高い大規模な「TICの森」を整備した。TICの森は北摂地域の植生を参考に樹種が選定され、高木約700本、中木約1,100本、低木約8,000株、地被類約40,000株が植栽され、成熟した豊かな里山の風景を創出している。

そのほかの外部空間は、記念樹を移植したメモリアルフレスト、ヒートアイランドを考慮した舗装を用いた駐車場など、環境に配慮した整備を行っている。

Review

「TICの森」の内部にはせせらぎや芝生広場、ウッドデッキが配され、研究・開発技術者に癒しとともに感性を刺激する空間となっています。隣接する淀川の環境とも連続し、野鳥類や昆蟲も豊かで生物多様性に大きく寄与しています。外観はシャープなセンター棟との対的調和が達成され、執務室や会議室からは緑が全面的に展開する内観となっています。メモリアルフレストは長い歴史の中で植栽してきた多くの記念樹を謂れとともに移植されており、歴史と記憶の継承に大きく貢献しています。

クリスマスローズやシュウメイギク、ホスタ、グリオリオサなど、あっと驚くような花が多いのが魅力作りの大きなポイントになっており、四季を通じて珍しい花が咲き乱れています。毎朝の通勤通学者に喜ばれるだけでなく、福祉施設からの散歩や小学校での花プロジェクトへの参加、高齢居住者への花束の配布など、地域に大きく貢献されています。

社員有志によるワークショップを通じてプランニングがなされ、完成後も直ちに社員有志による管理運営が実行されています。この森の実生苗も敷地内の他の区画や他の工場へ移殖できるよう有志の手によって育苗されています。また、近隣だけでなく他都市からの視察や現地研修会も積極的に受け入れられており、花と緑のあるまちづくりに大きく貢献されています。

(大阪府立大学 増田 昇)

奨励賞

コイズミ緑橋ビル

【事業主】小泉産業(株)

【設計者】(株)竹中工務店

【施工者】(株)竹中工務店

Address

C 大阪府大阪市東成区東中本

Review

住宅街に、独創的な緑の壁面が聳(そび)えている。多様な樹木が各階から空に向かって列状にすらりと立ち並ぶ様は、一瞬重力が狂ったかのような錯覚に陥るほどの迫力である。各階のパレコニーに出ると、樹木周辺には思いのほかゆとりがあり、思い思いに利用することが可能な設えになっている。建物内から外を望むと、工夫を凝らした人工光が自然光と溶け合う狭間で樹木が添景として絶妙な効果を醸し出しており、この緑のデザインは、独自の光の風景づくりに寄与していることが分かる。

ただし、その継承には知恵と技術が試される。各階の樹木は日照を求めて外部に伸びていくことが予想され、樹種のなかには特に肥大・伸長成長しやすいものも含まれている。枝折れや根上がり等の防止を含む、この空間に相応しい適正かつ安定した樹木の生育管理が、今後の重要な課題となってくるであろう。

(奈良県立大学 井原 緑)

ランドスケープマネジメント部門

—まちが笑顔になるみどりづくり—

大阪府 知事賞

ガーデンシティコーブ 金剛東すみれ会

【活動者】ガーデンシティコーブ
金剛東すみれ会

Address

A 大阪府富田林市津々山台

Outline

敷地は日影が多いので紫陽花を植え、足元にクリスマスローズ・風呉草・シュウメイギク・ホスタなどを植えている。

旧製作所本館や剣道場が建っていた南面には、全くの更地から自然度の高い大規模な「TICの森」を整備した。TICの森は北摂地域の植生を参考に樹種が選定され、高木約700本、中木約1,100本、低木約8,000株、地被類約40,000株が植栽され、成熟した豊かな里山の風景を創出している。

そのほかの外部空間は、記念樹を移植したメモリアルフレスト、ヒートアイランドを考慮した舗装を用いた駐車場など、環境に配慮した整備を行っている。

Review

平成10年から活動を開始され、今年は20年目に当たります。集合住宅団地の横の約300mにも及ぶ緑道を色々とアレンジされ、華やかで魅力的な空間をまちに提供されています。

視察時にはどこからともなくメンバーが三々五々と集まりだし、楽しげな会話が弾みます。始めからのメンバーに新たに引っ越ししてきた方が加わり、お友達作りの絶好の機会となっています。

クリスマスローズやシュウメイギク、ホスタ、グリオリオサなど、あっと驚くような花が多いのが魅力作りの大きなポイントになっており、四季を通じて珍しい花が咲き乱れています。毎朝の通勤通学者に喜ばれるだけでなく、福祉施設からの散歩や小学校での花プロジェクトへの参加、高齢居住者への花束の配布など、地域に大きく貢献されています。

また、近隣だけでなく他都市からの視察や現地研修会も積極的に受け入れられており、花と緑のあるまちづくりに大きく貢献されています。

(大阪府立大学 増田 昇)

みどりのまちづくり 活動賞

花咲かしんきん運動

【活動者】大阪信用金庫

Address

C 大阪府堺市堺区向陵中町

(三国ヶ丘支店)ほか全70店舗

Review

府内に70店舗以上を展開する地域金融機関の大坂信用金庫。地域貢献として活気ある街づくりを応援するため、店舗の周辺に趣向を凝らした花壇や緑のカーテンを設け、周辺の清掃活動を行うなどの「花咲かしんきん運動」を全店舗で10年以上継続されている。

通常そのような活動は手間がかり業務の支援になると想われるが、予想に反して、若手の人材育成や働き方改革などの業務改善に繋げられていることは特筆に値すべきことである。そのマネジメント力に敬意を表する。

今後も積極的に運動を展開し、その取り組みを紹介することで、御社のシステムが周囲に波及し、活気ある街づくりの企業リーダーとして活躍されることを期待する。

(株)庭樹園 当内 匠

公益財団法人国際花と緑の博覧会記念協会 会長賞

長池オアシス管理会



【活動者】長池オアシス管理会

Address

B 大阪府泉南郡熊取町長池

Review

ため池は古くから農村地域の共有空間として活用されてきましたが、農業に従事されている方以外にとって少し縁遠い存在であることが一般的です。しかし、熊取町北部のため池「長池」は、池周囲の市街地にお住まいの方々も憩い・楽しむことができる地域に開かれた魅力的な空間となっています。こうした環境は水利組合と池周辺の自治会で構成される同会による長年の活動により育まれたものであり、これは賞の趣旨である「自然と人間の共生」という観点からも、ため池と人々との新たな関わり方を示しているものだと感じました。

府の事業により親水空間が平成12年に整備され、その後同会による維持管理が行われていますが、役員の方々は活動を「毎日継続すること」をモットーとしており、その貢献度および継続性は高く評価できるものです。さらに同会の活動の成果や意義が空間利用者にも伝わり、その人たちが新たに維持管理活動に参加するなど、約100人にも及ぶ会の活動が地域を巻き込みながら発展していることも評価でき、今後の持続的な保全活動も期待できます。

地域固有の景観・生物多様性の保全に寄与とともに、地域社会をつなぐコミュニティの場であり、今後も大切に育ててほしいと思います。

(大阪大学大学院 松本 邦彦)

審査委員長 特別賞

UR都市機構千里青山台団地



【活動者】ITO×UR みんなの庭プロジェクト
(みんなの庭活動の住人グループ、
UR都市機構、伊東豊雄建築設計事務所)

Address

D 大阪府吹田市青山台

Review

千里青山台団地は、1970年の大阪万博開催にむけて開発された千里ニュータウンの北の一画に位置しています。丘陵地には74棟が建ち並んでいますが、高低差のある地形を活かしていることから、のびやかな風景が広がっており、豊かに育った緑地はもはや歴史的資産といえるでしょう。完成から50年を経て世代交代が進むなか、高齢者が生きがいを感じ、若い世代が子育てをしたいと思える環境づくりが、この「みんなの家プロジェクト」で取り組まれていることは誠に喜ばしいことです。

小さな庭(花壇)をつくり育てることで住人同士のつながりをもつくり育てようとする活動は、まず平成27年に「ハーブの庭」として誕生し、現在は5か所で22の庭が作られています。取り組みはまだ3年目ですが、今後ますます花壇と笑顔が増えていくことを期待いたします。

(京都造形芸術大学 仲 隆裕)